

## 【ESD学習支援活動】

### 奈良市立飛鳥小学校 第3学年総合的な学習の時間「ならまち探検」支援報告書

奈良教育大学 学部4回生 谷垣 徹

1. 日 時 (第1回) 平成29年11月21日(火) 14:00~16:00  
(第2回) 平成29年11月28日(火) 14:00~16:00  
(第3回) 平成29年12月19日(火) 14:00~16:00

2. 場 所 奈良市立飛鳥小学校区(奈良町周辺)

3. 参加者 英語教育専修 学部4回生 谷垣徹  
奈良市立飛鳥小学校 第3学年児童(3学級)  
奈良市立飛鳥小学校 教員5名

#### 4. 内 容

(第1回) クラスごとに奈良町にぎわいの家、元興寺などの見学

(第2回) 課題別グループでのならまち探検

(第3回) 課題別グループでのならまち探検

#### 5. 活動支援報告

奈良市立飛鳥小学校第3学年では総合的な学習の時間で、校区にあたる「ならまち」について学習しており、引率として支援にあたった。支援を通して感じたこととして、以下の2点を報告する。一つ目に活動の組み立てについて、二つ目に学生としての関わり方についてである。

一つ目の活動の組み立てについてであるが、この活動は1回の探検で終わるのではなく、複数回繰り返して探検を行っている。まず初回にクラスで主要な箇所を回って教員からの説明を聞いたり見学したりしたあと、調査したいテーマを設定し、第2回以降で個々の課題に応じてグループで探検するという流れをとっている。児童一人ひとりが関心のあることを探求できる学びの組み立てが、とてもよいと感じた。

二つ目の学生としての関わり方についてである。課題別グループでのならまち探検の時に、そのグループでは外国人観光客にインタビューをするという課題を設定したグループであったが、3年生ということもあり、英語でインタビューすることには限界がある。通訳としてサポートに入ったが、あくまでも主体は児童であり、児童と外国人のコミュニケーションを大切にしながら、言語面でのみのサポートを心がけるようにした。どの程度までサポートするかは、学生にとって意識しておくべきポイントであると感じた。

2学期には3回の探検を行ったが、3学期でも継続して探検に出かける予定になっている。児童の充実した学びと安全面の確保、また参加学生の貴重な学びの機会としても、今後も継続して関わりたいと考える。



グループごとの探検の様子



奈良町資料館で館長さんの話を聞く様子